

## 新年のごあいさつ



理事長  
近藤 忠男

会員の皆さま、明けましておめでとうございます。穏やかな正月をお迎えになったこととお慶び申し上げます。年末から猛威を振るっている新型コロナウイルスの第8波は、会員の方にも及んでいます。



第8波は、これからどうなっていくのか、いつまで続くのか分かりませんが、状況を注視しながらセンター活動を続けていかなければなりません。年度目標の事業高、6億6千万円は就業会員の皆さまの頑張りによって達成の見込みがみえてきました。会員数においても「出前説明会」の開催をはじめ、鋭意努力しているところです。本年度、残すところ3ヵ月、理事、委員会、地区や会員の総力で目標を達成し『前進するセンター』を目指して、新年のスタートを切りたいと思います。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

## いよいよはじまる『インボイス制度』

令和5年10月から『インボイス制度』のスタートをニュースなどで見かける機会も増えてきました。センター事務局も、制度に備えた準備に余念がありません。会員の皆さまが就業の対価として得ている配分金にも消費税が含まれています。実際には課税売上が1,000万円以下の個人事業者は免税事業者として、消費税の納付義務が免除されています。ただし、「シルバーの配分金と合わせて」1,000万円以上の会員は適格請求書発行事業者の登録を令和5年3月末までに済ませる必要があります。登録後は、ただちに適格事業者番号をシルバー事務局までお知らせください。(事務局)

## 「楽しく、ためになる」終活講習会開催！

12月16日センターで、「楽しく、ためになる」講座として「終活とは何かを学ぶ」講習会を開催しました。

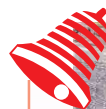
参加者は16名、講師はシルバー会員で行政書士でもある稲葉久さんです。



高齢者の関心の高い内容を、分かりやすく噛み砕いた説明でお話いただきました。

エンディングノートの意義、遺言の必要性と方法、葬儀からお墓の事前決定など、人生を締めくくる上で準備すべき基本的なことを学び、参加者からは多数の質問が寄せられ、活気ある講習会でした。

(イベント推進委員会)



●  
使用済ベルマーク  
&  
インクカートリッジを  
寄贈

会員の皆さまから寄せられました、数多くのベルマークと使用済みインクカートリッジを、浜脇小学校へ寄贈し、M委員(左)から校長先生(右)にお渡ししました。

次回は大社小学校に寄贈を予定しています。(イベント推進委員会)

●「ベルマーク&使用済インクカートリッジ収集」へのご協力をお願いいたします。

## 12月末の 事業実績

※( )は昨年比

- 会員数：2,276人(+33人)
- 事業高累計(含派遣)：529,586千円(-32,004千円)
- 就業実人員(含派遣)：1,715人(-7人)

## センター 無事故 継続日数

- 就業中：25日
  - 就業途上：67日
- (2022年12月31日現在)



●安全・適正委員会からのお知らせ●

シルバーの重点テーマは「健康」と「安全」

安全

11月・12月の傷害事故は1件でした。  
 ★「事故事例」は次の通りです。  
 家事援助で清掃中に、階段から足を踏み外して転倒した。頭とお尻を打ち、頭部から出血したため救急車で搬送されたが、幸い軽傷であった。 (安全・適正委員会)

●独自事業●パソコン教室



パソコンやスマホの便利屋さん!

パソコンやスマホの講座を自分たちで企画・運営、公民館などの講座へ講師を派遣、ご自宅を訪問してパソコンなどの障害解決などにも活躍しています。

パソコンやスマホで分からないことが発生しても、メーカーは対応してくれず、購入した店も対応してくれず、どこにも聞けずに困っておられる方が大勢いらっしゃいます。そんな時、『パソコン教室』が相談に乗り、解決のお手伝いをしています。言わばパソコンやスマホの便利屋さんです。依頼者からは「助かった」、「うれしい！」と喜んでもらえ、我々もハッピーな気持ちになれる就業です。

(代表 M会員)



「用水路」から「歩行者用通路」に

西宮の文学散歩①  
マンボウトンネル

文学作品に登場することの多かった我が街「西宮」。

JR神戸線の「さくら夙川駅」から東へ約10分の平松町に、『マンボウトンネル』があります。

明治7年に国鉄が大阪・神戸間に鉄道を開業する際に、線路の盛土の下に作った用水路ですが、その後、利便性から歩行者用に形を変え、付近住民に利用されています。

この『マンボウトンネル』は、谷崎潤一郎の「細雪」にも登場。西宮市内にはこのようなトンネルが3カ所あり、一度くぐってみては、いかがでしょうか。 (広報委員会)

事務局からのお願い

●就業期間についてのルール(請負・委任・派遣)

「共に助け合い、共に分かち合う」の精神で仕事をシェア

センター事業にご尽力いただいている会員の皆さま、ありがとうございます。皆さまの頑張りにより、昨年度は7億4千万円の事業高を保つことができました。

しかし、就業を希望する会員全員が就業に就けているわけではありません。月々の就業率は70%を切っています。シルバー人材センターは「自主・自立、共働・共助」「共に助け合い、共に分かち合う」の精神で仕事をシェアしながら、より多くの会員の方に就業していただくこととなっています。

継続就業は1年更新で、公共の仕事では最長3年(広報紙を配布しているか配布意思がある場合は5年)、民間の仕事では5年としています。また、交替の期限が来ても交替会員が見つからない場合は1年単位で就業延長をお願いしているところです。

事務局のミスにより5年の就業期限を明確にしておらず5年を超えて就業していただいている就業先がありました。会員の皆さまには深くお詫び申し上げます。

今後、公共3年、民間5年を超え就業していただいている会員の方につきましては順次交替をお願いすることといたします。事務局からお声掛けがあった場合は「共に助け合い、共に分かち合う」の精神で、ご協力をお願いいたします。

(事務局)

『シルバー阪神バス』を見つけたら パ・チ・リ!!



9月から、側面に西宮市シルバー人材センターの広告をラッピングした阪神バスが1台走っています。今年の9月まで走っていますので見つけたら写真を撮って、インスタ映えをねらってください。 (広報委員会)